

■第6回(6月)定例会	…P 2~4
■一般質問	…P 5~9
■村内巡視	…P 10~11
■編集後記ほか	…P 12

## 産山で見られる山野の花 10

ヤマホトトギス（山杜鵑草） 「ユリ科 ホトトギス属」

北海道南西部～九州、朝鮮半島に分布し、山地の林下に生育する多年草。

花期は7～9月で、茎先および上部の葉腋に散房花序を出し、花を上向きにつける。花は漏斗状鐘形、白色地に紫色の斑点があり、ときに下部に黄色の斑点が出ることもある。

名の由来は、花の斑点が、野鳥のホトトギスの胸の斑点に似ていることから「ホトトギス」の名になったというのが一般的で、「山」の名はあるが低地の里山にも自生する。

鳥のホトトギスは「不如帰」の漢字を使うことが多い。

# 令和5年6月定例会

令和5年第6回定例会が6月12日から16日まで開催され、予算議案1件、条例議案2件、報告議案3件、承認議案1件、同意議案9件、その他議案1件の17議案を審議し、全会一致で可決しました。

## 令和5年度一般会計補正予算（第2号）

補正予算1億4,087万円が増額され、総額22億7,714万円に

### ■ 主な歳入

○分担金及び負担金	101万円
○国庫支出金	1,315万円
○県支出金	5,700万円
○財産収入	△80万円
○繰入金	4,483万円
○諸収入	348万円
○村債	2,220万円

歳入計 1億4,087万円

### ■ 主な歳出

○議会費	65万円
○総務費	5,339万円
○民生費	88万円
○衛生費	11万円
○農林水産業費	813万円
○商工費	189万円
○土木費	7,880万円
○教育費	△294万円
○諸支出金	△4万円

歳出計 1億4,087万円

(\*万円以下は、端数調整)

## 6月定例会（主な議決事項）

### 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援対策事業

**4,697万円**

電気・ガス・食料品等の高騰により家計への負担を緩和するため、下記の事業を行います。

- ①非課税世帯に3万円の支援・・物価高騰により特に家計への影響の大きい低所得世帯（住民課税非課税世帯）に1世帯当たり3万円を給付
- ②全世帯へ3万円の支援・・村独自の物価高騰対策として、全世帯を対象に1世帯当たり3万円を給付
- ③村外学生（高校を卒業し、各種学校に進学した学生）への支援・・学生の村内在住保護者に3万円を給付
- ④高齢・障がい者施設への支援・・食材費の高騰に伴い昨年度と比較し月別に一定額増加している場合を対象に各事業所最大24万円を給付
- ⑤事業者価格高騰支援・・エネルギー価格高騰対策として、村内事業所（51事業所に6万円）、特定事業所（阿蘇やまなみゴルフ倶楽部、㈱うぶやま、㈱九州産直市場に60万円）を給付
- ⑥村内商品送料支援・・村内の商工観光事業所の負担軽減のため、商品発送料の全額を補助（16事業所400万円）
- ⑦LPガス料金の軽減支援・・LPガス使用世帯の支援のため上昇額を助成（熊本県LPガス協会にて実施）
- ⑧産山学園生給食費無償化・・電気・ガス・食料品の上昇により、保護者の家計に負担軽減のため、給食費を全額無償化とするもの

## 中山間整備費 7,880万円



令和4年改修を行った産山地区  
中新井手水路

村内の各種水路を改修する事業で委託（石尾野水路、家壁水路）工事（有馬ヶ淵水路、御湯船水路、中新井手水路）をそれぞれ追加するもの。（国55%県14%）

## 修学旅行補助 67万円



令和4年度8年生修学旅行

物価高騰に伴い産山学園の修学旅行費の一部を助成するもので、保護者の負担を前期課程5,000円、後期課程10,000円とするもの。（村単独事業）

## その他主な議案

○報告第2号 令和4年度産山村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

○報告第3号 令和4年度産山村簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

**要旨** 令和4年度からの繰越し事業として、3月報告のあった繰越し事業について、繰越額が確定したため、その旨の報告がされました。

○報告第4号 令和4年度産山村一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

**要旨** 村道産山田尻線飛瀬橋の橋梁架け替え工事、下山吹上山吹線中渡瀬橋補修工事について事故繰越しを行うもの。（事故繰越しとは、事業年度に完了しなかった事業（明許繰越）について何らかの理由によりさらに次年度に繰越すもの）

○承認第4号 産山村過疎地域持続的発展計画の一部変更の承認について

**要旨** 本村の過疎計画について今後事業が必要なものを追加するもの。

○議案第40号 産山村有財産の貸付の一部変更について

**要旨** ゴルフ場用地の貸付について、土地の貸付面積及び金額について、変更するもの。

○同意第2号～9号 産山村農業委員会委員の選任についての同意を求める件について

**要旨** 令和5年7月19日で任期満了となる農業委員会委員について新たな農業委員として同意が求められ全会一致で同意された。

○発委第1号 産山村出資法人への関与に関する条例の一部を改正する条例について

**要旨** 同条例は産山村が出資する法人について、年四半期ごとに経営状況を報告する旨の条例であるが第4四半期については、法人の決算確定が6月末であるため、6月では、確定値とならないため、決算報告と併せて報告できるように改正するもの。

○発議第4号 産山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

**要旨** 議員の費用弁償について、産山村内で行われる会議等について、現在の議員の在任期間中は日当を支給しない旨の議員提案がされ、全会一致で可決された。

# 6月定例会質疑応答

## 一般会計繰越明許費繰越計算書から

【問】 繰越の現在の進捗状況を尋ねる。

【答】 繰越しの現在の状況は次のとおりである。

- 移住定住空き家物件調査事業は、空き家の持ち主の方と協議が完了後、宅建協会に空き家情報を整備するもので現在持ち主の方と協議中。
- 小さな拠点整備事業は、Aマート跡地の外構の舗装工事分で近々工事予定である。
- 観光施設整備事業はキャンプ場の管理等及び池山水源の排水修繕工事は完了。
- 農業振興推進事業費は上田尻アグリノ機械導入で完了。
- 堆肥製造施設整備事業はホイロローダーの導入及びトラックスケールの設置、水道工事で現在進めている。
- ほうれん草学校暗渠排水工事は完了。
- 社会資本整備交付金は橋梁の補修設計委託業務で下大利橋、平川橋は完了、下家壁橋は作業中。
- 村単独改良事業、西田尻小坪線排水工事は完了。
- 団体営農業農村整備事業は3水路（有馬ヶ淵水路、御湯船水路、中新井手水路）については、作業中。
- 農業用施設災害復旧事業令和4年度災害（3件）で発注済み。
- 農地災害復旧事業、令和4年度災害（8件）で完了が2件で6件は、農閑期に工事を行う。

## 補正予算から

【問】 議会会議システム用マイクユニット機器購入について説明を求めます。

【答】 議場内にあるマイクユニットについて5台購入するもので、3台が執行部席へ設置し、残りの2台は、同機器が生産中止となったため、今後故障した場合購入ができないため、予備として2台購入。



追加購入するマイクユニット

【問】 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援対策事業について、今回4,697万円を補正している。

【答】 そのうち、国県支出金が982万円、一般財源が3,716万円あり、この一般財源が今後、補助事業となるのか。

【問】 補助事業となるよう現在、県と協議を進めており9月定例会において財源組替をするよう考えている。

【問】 ドライブレコーダー設置費用についていままで設置していなかったのか。

【答】 現在ドライブレコーダーの設置車は5台で今回7台分の公用車に設置する。



車の事故等状況確認するため、ドライブレコーダー7台分を本年度設置

【問】 車の管理については車検切れや維持について管理はできているか。

【答】 車検台帳については、一元化して総務課で管理し、維持管理については、各課で管理を行っている。



城本 俊成  
議員

## ■水田の長期維持

【議員】水田の現況と米価の低下によりモチベーションが低下していると思うが現在の状況を尋ねる。

【政策統括審議監】米の需要量は、パック米・おにぎり・輸出は別として一貫して減少傾向。米の販売価格、R4年度、60キロ1万3,865円が全国の平均値。

価格低下と共に作付けの面積も全国で約5万haが昨年減少、熊本県下においても1000ha減少し、本村も水田面積は約290haあるが、実際米生産は150ha、それ以外は、作物の転換が徐々に拡大している。

水田を活用した高収益作物への転換等、利用集積を図り、土地利用の最適化を含め、令和6年度までに地域の実情、要望を踏まえた土地利用計画を策定し進めていきたい。

【議員】村土を守る観点から、持続可能な水田維持のため、(株)うぶやま内に直営部を創設し販売促進の可能性はないか。

【村長】現状、販売につきましては、JAによる販売、農家の個別販売等々からなっている。

産山のブランドとして(株)うぶやまの直営部の創設と販売についての、可能性があるのか検討させて頂く。

【議員】所得向上しないと若者は定着しないし持続可能性はない。農地を守る・村土を守る観点からも、米や転換作物も含め販売戦略できないか。

【政策統括審議監】耕作放棄地の現状が既にあるので、集積集約を進めると同時に、収益性と農業経費を合わせ、転換作物も協議しながら、地域計画をつくった上で、協同的に進めていく。

【村長】JAの販売の役割は大きなものがあり、今現在もその役割はしっかり担っている。

農産物のブランド化にも大きな壁もあるが検討し、農地・国土を守り、子ども達が、将来安心して暮らせる村にしていこうということも、責務と感じている。

## ■村宿泊施設予約方法

【議員】村宿泊施設の予約が電話だけでなく、利用客拡大にWEB予約が必要ではないか。

【企画振興課長】村内3施設の予約は電話の受付のみとなっている。

WEB予約の導入に関しまして、メリットデメリットがあるが、総合的に勘案して、(株)うぶやまと協議しながら検討を進めていきたい。

## Q 宿泊施設のWEB予約出来る様にするべきでは !!

## A (株)うぶやまと協議し、検討する



現在、インターネットに掲載されている予約サイト  
なお、ヒゴタイ公園キャンプ村、御湯船温泉館についても同様

**Q** このままでは、緑地等管理中央センターも花の温泉館と同じように!!

**A** 公募や地元の方から申し出を募る

■花の温泉館・緑地等管理中央センターについて

【議員】花の温泉館の一般質問は今日で15回目である。休館して7年間もほったらかしで、毎日見るのは本当に悔しい。休館中という看板がずっと出ていていつ再開するんだらうと、観光客の方が言っている。温泉用のポンプを動かしていれば、温泉を宅配しお年寄りに配ることもできた。でもそれも一切やらない。風通しもなく鍵も閉まってない。観光だけの目的じゃなく、村民の健康づくりのため何とか再開していただきたい。

また、緑地等管理中央センターについて、水源の目の前にあって1年間ほったらかしである。水源の入り口をおろそかにするということ自体許せない。施設の風通しをしないと廃屋化が進み温泉館のようになる。観光客の方も訪れているのに廃屋化しつつあり、草が生い茂っている。

本当にそういうことでいいのか尋ねる。



井 芳美  
議員

【村長】

今回は15回目と言うことでいろいろ質問もいただき御指導もいただいた。花の温泉館については、赤字というのが大きな原因の一つだった。今後どうするか議論を何遍もし現在、公募した中で希望があったので今後、相談をしていきながら前に進めたいと思っている。

また、地元の皆さん方の御協力がないと前に進めない部分もあるので協議を進めていきたい。

なお、緑地等管理中央センターであるが経営されていた方がコロナ過により経営がうまくいかないという状況であった。

現在、公募しており、地元の方も利用したいという申し出があれば対応していきたい思っている。

【議員】花の温泉館復活サイト基金を立ち上げ寄付金を募っていただきたい。

【村長】取り組んでいきたいと思っ

**Q** 村営住宅の建築を!!

**A** 空き家住宅を含めて検討する

【議員】村内に全部で100軒ぐらいの村営住宅があるが、産山区と田尻区の戸数が少ない。住みたいという方がいらっしやるのに、村営住宅が多すぎて作れないという話しを聞いたが、住みたいという人がいるならどうにかしようという案はないのか。

■村営住宅について

【企画振興課長】指摘を受けながら対応が遅れことおわびを申し上げたい。

また、村に訪れる観光客に対して、不便、不自由をおかけしていることを真摯に受け止め早期な改善する。

なお、村内全域の看板について、年内に総点検を実施したいと考えている。

そして年度内に改修計画案を策定した上で、管理、また、改修を計画的に進めていきたい。

**Q** 案内看板の管理ができてない!!

**A** 早期改善を行う

■村内案内看板について

【議員】村内の案内板について観光客の方が、看板がわからず通り過ぎて遠くまで行って、また戻ってきてお店で聞くといった状態が続いている。

以前も指摘したが看板の管理が出来てないのでは。

【村長】南部地区を重点的に進め事業は継続としてやってきた。今後、全体的にどこにどれだけというのは、当時の複合住宅の建て方であった。村営住宅をつくるのがいいのか、空き家等も含めて、いろんな形でできないか検討しているところである。やはり必要なところに必要な住宅を整備するのは当然であり継続してやらなければいけないし、空き家対策も含めて、併せて取り組んでいきたいと思っ

	南谷 団地	黒瀬 戸 団地	田尻 地団	上田 尻 団地	橋ヶ 谷 団地	牧野 団地	大利 団地	空き 家 活用	片俣 団地	ヒゴタ イ ハイツ	里山 住宅	妙見 団地	合計
産山区	8							1					9
田尻区			2	4				1					7
山鹿区		4			8	10		2			4	3	31
大利区							12	1		18	3		34
片俣区									12				12

## Q 携帯電話等接続不具合対策を!!

## A 検討を進めたい

【総務課長】農林業のデジタル化や観光客誘致に向けたサービス向上等の観点から情報通信環境整備対策を進め関係省庁や民間企業などと連携した農業農村情報通信環境整備準備会に応募す

【議員】携帯電話接続・ネット検索の不具合など電波が弱いと通話やネット検索に不具合が生じてしまう。また、産山村は今後観光の面でも力を入れていかなければならないが、万が一事故にあった場合、緊急連絡が取れない場合も出てくる可能性もある。さらに、近年多発している豪雨災害などによる孤立などの緊急連絡・救助要請などが取れない事態も発生する恐れも想定される。地域振興や観光振興、移住対策、緊急時の通信確保などから、対策を講じる考えはないのか。



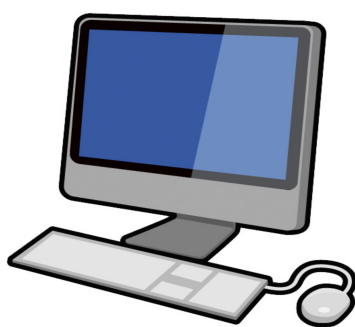
井 春夫  
議員

### ■携帯電話接続・ネット 検索不具合対策

るとともに、勉強会を開催し検討していきたい。

【議員】産山村の地域振興、観光の振興、移住対策にとって非常に重要であり、検討をお願いする。

【村長】改善方法について、県と協議しながら検討を始めている。



## Q 空き家・住宅対策を早急に!!

## A 関係機関が連携し推進を

### ■空き家対策・住宅対策

【議員】わが村でも、空き家の増加が問題となっており、また、地方移住を考えている人が直面するのが、住宅問題で、過疎・人口減少から移住者に来てほしいが、「使わなくなつた空き家を気軽に借りられる」という実態はなく、住宅が不足している。

「テレワーク」という働き方が定着しつつあり、働く人の価値観が徐々に「地方移住」に向き始めている

今こそ、空き家対策と、不足している住宅問題に早急に取り組むべきだと思うが。

【企画振興課長】現在、空き家バンクへの登録意向の確認作業を行っている。

また、老朽化等により公営住宅等の建て替え等も増加しており、住宅希望者のニーズを踏まえた空き家対策を関係機関と連携して進めている。

【村長】空き家問題は村だけで解決できる問題ではなく、権利の問題など複雑に絡んでおり難しい問題ではあるが、空き家を活用した事業展開したい

という企業もありこのような事案も含め検討していきたい。

【議員】空き家は様々な問題を起す可能性や、時間の経過とともにその問題が深刻化する場合が多く、空き家の有効活用を含め、築年数の長い村営住宅の条件付き売り払いや集落を維持していくため集落内に小戸数の村営住宅の建設などを検討し、早急な取り組みをお願いする。



上山鹿空き家活用住宅



鈴木 健士  
議員

## Q 今後の水道計画はどうなっているか!!

### A 2つの水源を利用しながら給水体制づくりを行う

#### ■村の水道インフラ整備 について

【議員】法定的な水道管路の耐用年数は何年なのか、また、水道管路の何割が耐用年数を超えているのか。

【経済建設課長】法定的な耐用年数は、40年と定められている。

村内の水道管路の状況は、耐用年数40年を超えているものが多く存在している。

水道管路の長寿命化計画を策定して、耐用年数を過ぎた優先度の高いところから工事をしていく計画を立てているところである。

【議員】40年の耐用年数を超えた水道管路の割合が多いと言ふことであるが、この地域から改修を行うと言った具体的な説明は出来ないか。

また、断水や濁水解消のための新たな埋設ルート計画があるのか。

【村長】水道整備計画を基本としながら、改修する中でバイパス計画とかは考えていかなければならない。

具体的にはここをどうこうするというのは決めていないが村民の方々が安心して生活できるようにするには村内には二つの大きな水源があるが、それを活用しながら、村民に十分給水できるように体制づくりを

進める必要がある。

それとともに水道設備施設を充実することが村に与えられた責任でもあると自覚している。

【議員】財政上の問題など、すぐに解決はできないものなど、私も自覚しているが、これを機会に速やかに水道整備計画を遂行していただきたい。



## Q 警報発令前の役場の体制は!!

### A 今災害待機班と避難所待機班を編成し対応

#### ■災害待機時の役場における 体制について

【議員】警報時、局地的大雨時の警報発令前の段階における役場の待機体制について問う。

【総務課長】令和元年度から災害待機班と避難所待機班の2班体制で、各課それぞれ2名1組として待機をしている。

災害待機班は、議会事務局、総務課、企画振興課、経済建設課、教育委員会。

避難所待機班は住民課、健康福祉課で編成している。

近年は村外通勤者もいるので時として、警報発令が予想される場合は情報を共有するとともに、村内に滞在をお願いして災害に備えている。

【議員】時代の変化とともに、職員の採用も広域化し、通勤可能範囲も拡張されている中組織体制の構成、地方公務員の役割を説く為にはどのような研修を行っているか。

【総務課長】新規採用職員者には避難場所に同行して確認、同時に産山村職員研修資料を基に、地方公務員としての義

務と権利。産山村職員としての自覚と責任等の知識の指導教育をしている。

職員は危機管理意識、産山村民の生命・財産は我々が守ると言う意識向上を図りながら豪雨対応訓練等も行っている。







岩下徳行  
議員

**Q 移住定住対策のプロジェクトチームを立上げては!!**

**A プロジェクトチームについて前向きに検討する**

**■移住・定住対策について**

【議員】村の契機の課題は、ご存じのとおり、人口減少対策です。現在の人口は1,406人程度で5年前に比べ117人減少しており、このまま減少すれば5年後には1,300人を切るのではないかと思われま。これは深刻な問題で、人口減少は様々な弊害が生じます。普通交付税減少に伴う財政の圧迫、産業の衰退、集落機能の低下、学校生徒の減少に伴う複式化など。村では移住定住対策として産山未来計画や稼げる村づくり推進事業を掲げて取り組んでいますので確認の意味でその取り組みや内容と成果等をお聞きします。

【政策統括審議監】2020年に策定した未来計画では6つの戦略を立て取り組んでいます。

**戦略1 しっかりと稼げる村**

新規就農者受け入れ事業（9世帯30人）、各種農業振興事業

**戦略2 ちゃんと伝える村**

産山未来ラボを立ち上げ、観光事業や6次産業化・商品の開発、販売（17事業、14商品の開発）ふるさと納税PR（R4年4950万円）

**戦略3 興味がわき訪れたい村**

自然、景観等を活かして、移住者を受け入れる施設整備（12事業者）

**戦略4 手厚い教育を更に進める村**

ヒゴタイ交流を核とした英語教育の充実、体験学習、チャレンジ学習などの特色ある教育課程の推進。保育料や給食費の無償化、ランドセル、カバンの支給、修学旅行の補助

**戦略5 移住して来てみたい、住み続けたい村**

県内外の移住者のサポート、子育て支援、医療、介護の質の高いサービス

**戦略6 一緒に頑張りが協働できる村**

住民の理解と協力を得ながら各種施策の計画、推進

**【村長】現在の取り組みを踏まえ**

まして、今後も未来計画に基づき、自然を活用した村づくりを基本に特に農業の振興を含めて観光と結びつけながら移住定住を図っていくことが大きな目標になるかと思えます。

**【議員】移住定住施策は、**

村の重点課題だと思います。村の施策として福祉や教育も重要な施策と思われませんが、私は同等以上に取り組むべきだと思います。本来なら移住定住対策について専門の課、例えば移住定住推進課を設置して本腰でやっていた方がいいと思います。少ない職員で色々な業務をたくさんやっている実情を見ますと難しいと理解しています。

そこで、提案したいのですが、プロジェクトチームを作って移住定住を推進したらどうかという提案です。各課から適任者を選出し、一つのチームを編成し進めることで今以上に各課の連携にもなり移住定住が進むのではないのでしょうか。例えば将来の後継者となる中学生や高校生との意見交換会を行い、その意見を施策に充てることもできます。また、産山独自の移住施策を行いながら是非人口減少対策に取り組んでいただきたい。

**【村長】移住定住だけでなく**

村には多くの課題を抱えていますので、その問題を解決する

ためにはそういった部署（プロジェクト）で専門的に対応することも必要であると思えますので、しっかりと受け止めて対応していきます。

【議員】村長は前向きに取り組むということですのでチームができたという報告を期待しています。



# 村内巡視を行いました。

4月の議員改選に伴い、新人議員の研修を兼ね、村内の行政施設等の視察を行いました。現地視察の結果、議員から各施設の改善策や利活用等について意見が出されました。

## うぶマート



## うぶやま未来ラボ・観光協会



本年度に完成した産山ふれあいセンターを見学し同施設内に入店したうぶマートやうぶやま未来ラボ・観光協会について企画振興課及び観光協会から説明がありました。

## 産山学園体育館



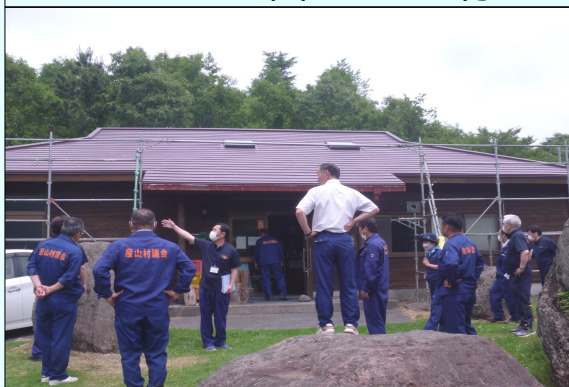
令和5年度にLED化する体育館の状況について視察

## ファームビレッジ産山



本年度ウッドデッキの補修が行われるファームビレッジ産山のロッジを視察

## ヒゴタイ公園キャンプ村



キャンプ場のトイレや管理棟の修理状況を確認

## 池山水源緑地等中央管理センター



現在休館している緑地等管理中央センターの状況や池山水源の現在の状況を視察

## 花の温泉館



花の温泉館や家族風呂の現在の状況を視察

## うぶやま牧場



現在のうぶやま牧場の状況について企画振興課から説明

## 原石山跡地



原石山の整備状況について視察

## 御湯船温泉館



御湯船温泉館の状況を視察

## 中渡瀬橋



村道下山吹・上山吹線に架かる中渡瀬橋欄干等の損傷状況を確認

## 上田尻アグリ倉庫



上田尻アグリ倉庫の状況を視察

# 産山村子ども議会

7月19日（水）産山学園9年生による子ども議会が開催されました。

「子ども議会」は産山村に誇りを持ち、郷土を今後どのようにしたら良いか子どもの目線で考える「うぶやま学」の一貫でうぶやま学園で学んだ9年間の総仕上げとして、村に対して「こんな産山になってほしい」と生徒が議員となって提案を行うものです。

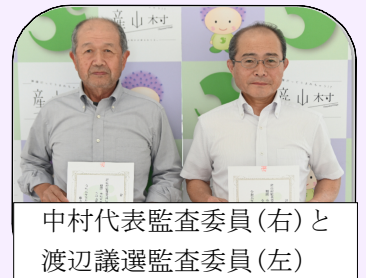
今回提案された内容は、①産山村の自然・農地活用 ②産山村の新しい魅力開発 ③産山村をPR ④産山村の住民サービス向上の4つの内容について提案がなされました。

詳細については、うぶやま広報8月号にて掲載

## 産山村監査委員 の選任について

6月に任期満了を迎えた産山村代表監査委員として、中村祐介氏が選出され、全会一致で採択されました。

中村祐介氏におかれましては、今後4年間監査委員として村の財政についてご助言いただきますよう宜しくお願い致します。



中村代表監査委員(右)と  
渡辺議選監査委員(左)

## 主な議会活動

月 日	内 容	場 所	参加者
6月2日	産山村社会福祉協議会総会 議会運営委員会 熊本県町村議会議長会総会及び研修会	産山村 産山村 熊本市	議長・監査委員 議会運営委員 議長
6月7日	産山村防災会議	産山村	議長
6月12日～16日	第6回定例会及び第5回全員協議会	産山村	全員
6月13日	村内巡視 産山村人権同和教育	産山村	全員
6月18日	滝室トンネル貫通式	阿蘇市	議長
6月23日	阿蘇農業協同組合通常総会 県庁阿蘇会	阿蘇市 熊本市	議長
6月26日	例月監査 阿蘇広域行政事務組合定例会	産山村 阿蘇市	監査委員 広域議員
7月6日	防犯協会総会 総務文教厚生常任委員会	阿蘇市 産山村	議長 総務文教厚生委員
7月19日	子ども議会 熊本県町村監査委員臨時総会及び研修会	産山村 熊本市	全員 監査委員
7月20日	阿蘇市町村正副議長・常任委員長研修会	阿蘇市	正副議長・常任委員長
7月21日	例月監査	産山村	監査委員
7月25日	中九州・地域高規格道路推進期成会総会	竹田市	議長
7月25日～28日	ヒゴタイ交流	タイ国	副議長 総務文教厚生副委員長
7月26日	熊本県町村常任委員長・議会運営委員長研修会(リモート研修)	産山村	正副議長・常任委員長

## 編集後記

コロナ感染症も、位置付けが5類に分類され、日常生活が元に戻りつつあり、行事ごとも含め何かと活気だって参りました。

それにしても、近頃のイノシシ・シカには参る。人を見ても逃げない。家のすぐ横でも悪さをする。昔は、それなりのマナーがあったように思うのだが。

それにしても、近頃の天候には参る。熱いし暑い。昔は、爽やかなカラリとしたものがあったように思うのだが。

村民の皆さんも、暑い夏に、体調を崩されませんようお過ごしください。

### 広報特別委員会

委員長 岩下 徳行      副委員長 井 芳美  
委員 城本 俊成      委員 鈴木 健士

発行責任者 議長 西澤 正

編集 広報特別委員会

発行 産山村議会

熊本県阿蘇郡産山村山鹿488番地3

☎0967-25-2635